

建設新聞読むなら建通新聞。[建設専門紙]

## 南部県民局が技術研修 高所掘削工法を見学

2016/10/28 四国

徳島県南部総合県民局県土整備部は10月27日、那賀町木頭助の国道195号で進めている災害復旧応急仮工事の山腹崩壊現場で高所法面掘削工法の職場技術研修を行い、那賀・阿南・美波庁舎の技術職員8人が参加した。

那賀庁舎を中心に道路砂防・予防保全・道路公園・工務の各担当が参加。黒川啓司主任が工事概要を説明し、施工を担当する小野組（那賀町）の岡内誠氏と協力会社である吉紀コーポレーション（藍住町）の吉木孝一社長が施工方法などを説明した。

崩壊現場は高さ約80m、幅約25m。9月20日の台風16号とその後の降雨で落石・転石が発生したため、同26日に全面通行止めにした直後、28日午前3時ごろ崩落。早期の通行再開と現場作業の安全を考慮した結果、ロッククライミングマシン（RCM）による法面掘削工法を採用。急斜面をワイヤとウインチなどを使いバックホウで施工する同工法は、通常は人力で約20日かかる作業を4日で終えた。



Copyright © 2006-2016KENTSU SHINBUNSHA. All Rights Reserved